



平成 22 年 3 月 2 日

各 位

会 社 名 オリコン株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 小池 恒  
 (コード番号 4800 大証ヘラクレス市場)  
 問い合わせ先 執行役員企業広報部長 日高輝明  
 T E L 03-3405-5252 (代表)

## 特別損失の発生および連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社グループが投資有価証券として保有するCCRE株式会社（本社：東京都渋谷区、以下「CCRE社」）の株式について、同社が本日、東京地方裁判所に民事再生手続きの開始申立てを行ったことに伴い、平成 22 年 3 月期第 4 四半期において、投資有価証券評価損として特別損失を計上する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、今回の特別損失の計上、並びに現時点での当社グループの各事業の営業の進捗状況等を勘案し、平成 22 年 1 月 8 日に公表した平成 22 年 3 月期の通期連結業績予想を修正いたしますので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### I. 特別損失発生について

##### 1. 経緯について

CCRE社は、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社のコンテンツ企画グループがMBOし、平成 17 年 8 月に設立されました。当社グループは、CCRE社が独自に音楽ソフト・映像ソフト・書籍を企画・製作し、多様な流通形態での販売を目論んでいたことから、当社グループが収集する音楽ソフト・映像ソフト・書籍の販売データの拡充につながるものと期待し、平成 17 年 10 月にCCRE社が行った第三者割当増資を引き受けました。

しかしながら、一部のヒット作に恵まれたものの、幼児向けの知育書、お笑い系タレントの映像ソフト等において販売不振が続き、さらに映画事業においても投資の回収が不調だったことも影響し、収益の悪化とともに資金繰りに行き詰り、今回の措置となったものです。

##### 2. 今後の見通しについて

平成 22 年 3 月期第 3 四半期末において、当社グループが保有する当該株式の帳簿価額は 110 百万円です。当該株式について、全額評価損処理を行い、特別損失を計上する見込みです。

なお現在、当社グループは、コア事業に専念することを経営の基本方針としていることから、新たな投資判断については、より厳格な基準に基づいて行っております。

#### II. 連結業績予想の修正について

##### 1. 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	5,830	720	700	400	2,557 円 21 銭
今回修正予想 (B)	6,070	770	740	350	2,237 円 56 銭
増減額 (B-A)	240	50	40	△50	—
増減率 (%)	4.1%	6.9%	5.7%	△12.5%	—
(ご参考) 平成 21 年 3 月期実績	5,019	511	376	332	2,124 円 20 銭

## 2. 修正の理由

### (1) 売上高・営業利益・経常利益

現在、当社グループのWEBメディア事業において、第4四半期（平成22年1月1日～平成22年3月31日）に「ORICON STYLE」サイトの広告売上が、前年同期を上回る状況で推移しています。またモバイル事業においては、特に着うたフル<sup>®</sup>配信サービスが引き続き好調に推移しており、着うたフル<sup>®</sup>の第4四半期の売上高は計画を上回る見通しです。さらにデータサービス事業のオンラインサービス「ORICON BiZ online」についても、堅調に推移しております。

以上のことを勘案し、平成22年3月期通期連結業績予想数値については、売上高6,070百万円（予想数値比240百万円増）、営業利益770百万円（予想数値比50百万円増、第4四半期のみで256百万円を見込む）、経常利益740百万円（予想数値比40百万円増）となる見込みです。

### (2) 当期純利益

上述(1)の理由、および今回の110百万円の特別損失計上を主な要因として、当期純利益については350百万円（予想数値比50百万円減）となる見込みです。

(注) 上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき算出した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる場合があります。

以上